

# 知財専門家の育成について

## 目 次

1. 望ましい知財専門家の要件
2. 知財の専門家育成イメージ
3. 知財ビジネスアカデミー
4. 新弁理士法(H12)の新規業務や新規技術と  
要求される新しい能力
5. 対応弁理士試験案(H12改正対応)
6. H12. 新規業務に対応した知財専門職大学院  
及び知財ビジネスアカデミーでの習得科目
7. 提 言

平成14年12月18日 弁理士 中島 淳

# 望ましい知財専門家の要件

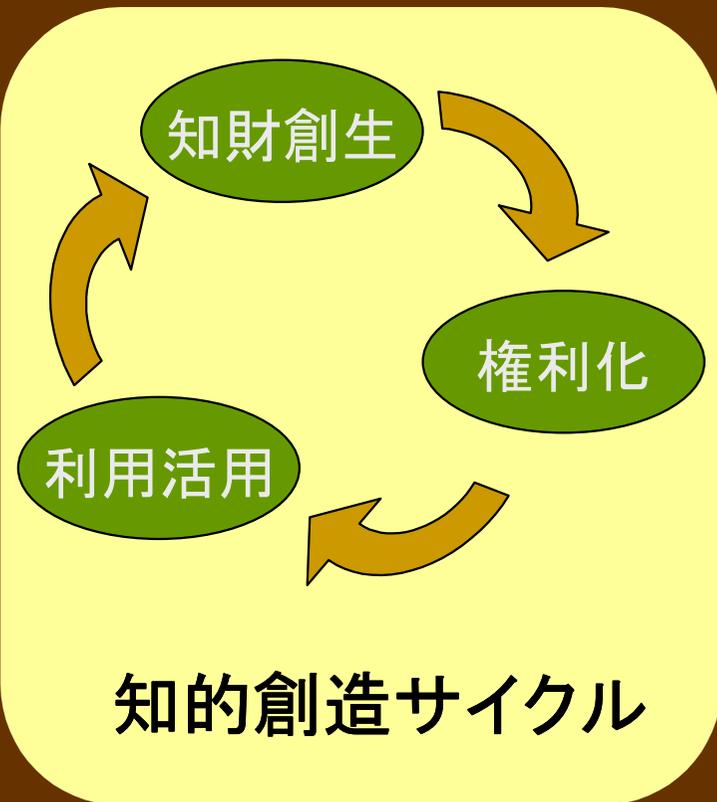
1. 知的創造サイクルに一貫関与

2. 技術と法律の双方に長ける

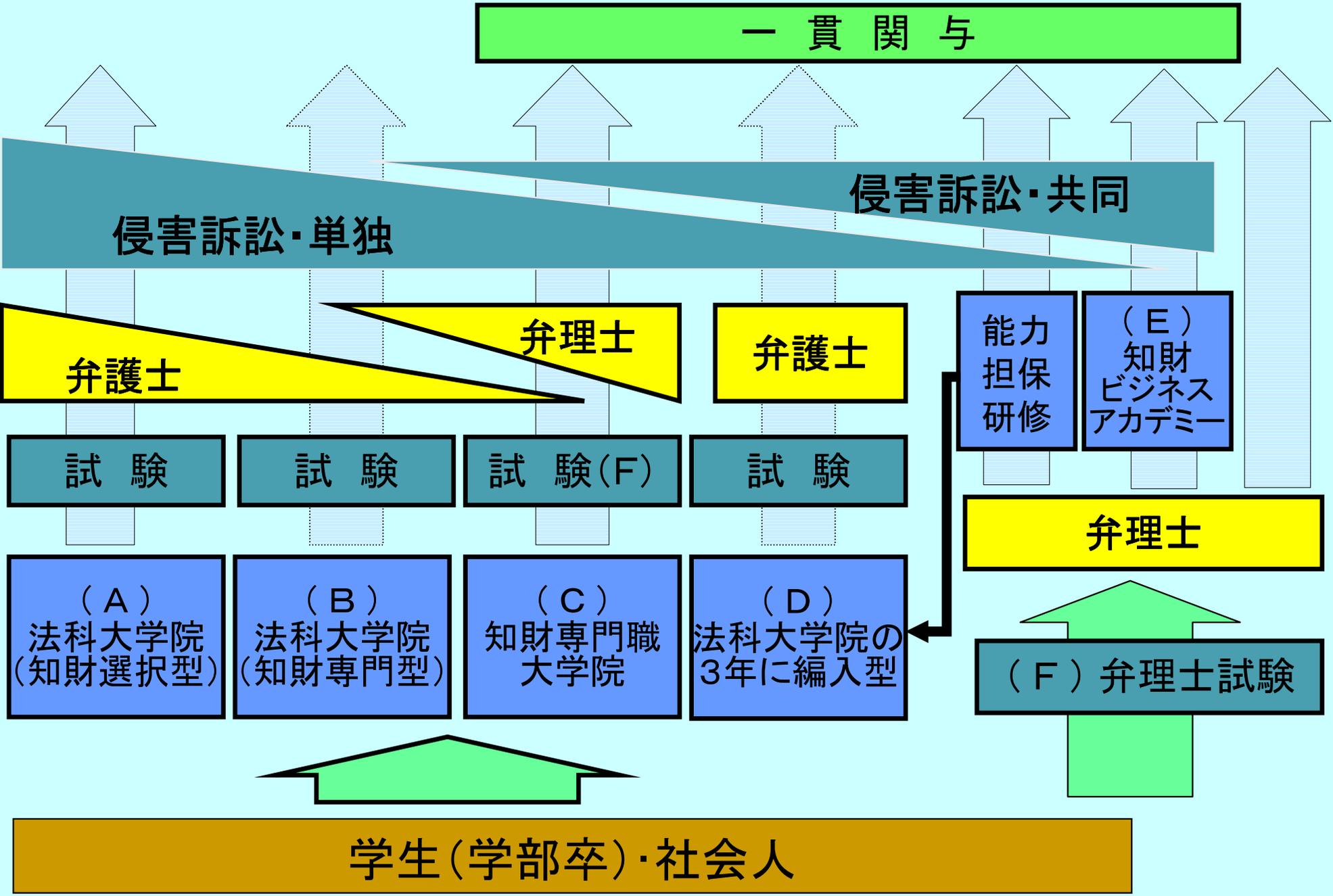
3. 知財の実務を習得している

4. 知財のビジネス知識がある

5. 知財の国際性に長ける



# 知財の専門家育成イメージ



# 知財ビジネスアカデミー

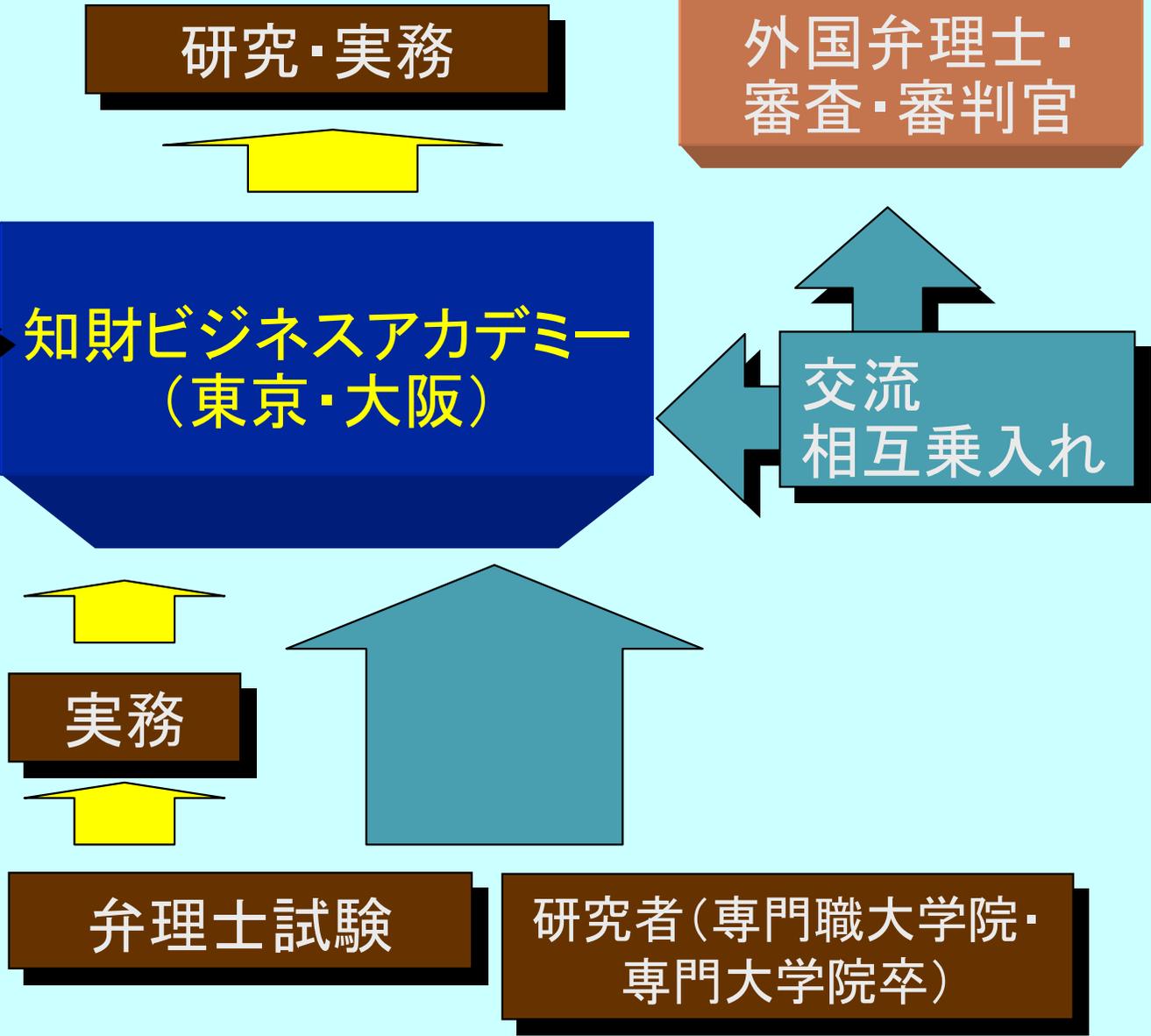
**研修内容**

- ・訴訟(能力担保)
- ・弁理士の業務
- ・外国法律制度
- ・知財紛争解決
- ・知財ビジネス  
(金融・流通)
- ・高度先端技術
- ・知財研究

研修期間: 6月~1年  
講師: 弁理士、弁護士  
学識経験者など

**実施主体**

- ・弁理士会
- ・専門職大学院  
(博士コース)等



# 新弁理士法(H12)の新規業務や 新規技術と要求される新しい能力

**新規業務**

- 税関水際措置
- 輸入差止情報提供
- 特定の仲裁・和解
- 権利関係契約代理
- 補佐人陳述・尋問

**対応法律**

- ・関税定率法
- ・著作権
- ・回路配置法
- ・不正競争防止法
- ・民法
- ・民事訴訟法

**新規技術**

- ・ネットワーク
- ・ライフサイエンス
- ・Eコマース
- ・ユビキタス
- ・ナノテクノロジー
- ・エコロジー

**産業再生**

**要求される能力**

- ・先端技術知識
- ・情報管理技術
- ・ビジネスセンス
- ・実戦感覚

# 対応弁理士試験案(H12改正対応)

短答式試験

論文式試験(必須)

特許・実案

意匠

商標

論文式試験(選択)

地球工学

機械工学

物理工学

情報通信

応用化学

バイオテク

法律

ビジネス

NEW

口述試験

# H12. 新規業務に対応した 知財専門職大学院及び知財ビジネスアカデミー での習得科目や習得形態

## 先端技術

- ・ネットワーク
- ・ライフサイエンス
- ・Eコマース
- ・ユビキタス
- ・ナノテクノロジー
- ・エコロジー

## ビジネス

知財戦略(国際)

知財マネジメント

知財ファイナンス

知財情報管理

契約交渉戦術

ベンチャー育成

## 習得形態

講義

演習

ケーススタディ

インターン制度

- ・特許事務所
- ・法律事務所
- ・企業知財部
- ・特許庁
- ・ロースクール
- ・裁判所

# 提 言

7

## 早急な対応

知財専門職大学院の早期設置  
(2004年4月開校の準備)

知財専門職大学院設置基準の柔軟な対応  
(理系大学への設置、実務家教員など)

知財専門職大学院と弁理士試験とのリンク  
(弁理士試験の科目免除など)

## 長期的対応

知財専門型法科大学院の設置